

教育フォーラム「不登校をきこえる」
不登校・ひきこもりと地域に求めらるるもの
〜子どもと歩む保護者たちの思いと寄り添って〜

【日時】2019年1月26日(土)午後
2時〜4時30分

【会場】ひかりプラザ (203' 204号
室)

【講師】広木 克行さん (神戸大学名
誉教授)

【参加者】73名

(前回のつづき)そうすると公園が僕たち私たちの公園に少し変わっていく。そんなふうに公園というのはそこに広場があるだけではなくて、そこを囲む大人たちが、子どもたちの現実にもっと関心をもって自治的に子どもたちの遊び場を保障する意識で、市の公園課の支援も得ながらつながりを作り公園を変えてきました。みんなが力を合わせればできるのですね。こうした変化が不登校の減少に続くかどうかはこれからなのですが…。

次は「時間としての逃げ場」。生活が全般に貧しかったころ大人たちは生活のために忙しく働いていました。子どもの数が多かったこともあり今みたいに子ども一人一人にゆっくり関わっている時間などなかった。それだけ子どもたちには自由な時間、時間としての逃げ場がありました。いまは学校にいれば先生の目、うちにいれば親の目、そして放課後は塾の先生の目、いつも大人たちの目の前にさらされていく子どもたちは評価する人の前で評価される生き物としてふるまわねばならない。そんな子どもたちのストレスがある中

で、子どもたちに時間としての逃げ場、深呼吸して体がみずみずしくなるような時間が一体どれだけ保障されているのかと本当に思いました。

三つ目は「関係としての逃げ場」です。以前は学校の先生や親以外の、子どもにとっては逃げ場になってくれる他の人間の存在がありました。これは大人たちの世界ではどう見られているかはわからないけれど、子どもたちから見れば子どもの話を聞いてくれるおばちゃんであったり、おじさんであったり、お兄さんであったり、そんな人が地域のどこかにいてかなり奇妙な役回りをして時には相談相手になってくれたり、時には遊びを教えてくれたり、そんなことも以前はありました。子どもたちが困ったときに相談できる人間としての逃げ場があったのです。今はそうではなくて指示する大人はいっぱいいるけれど、子どもたちが相談したくなる大人はなかなかいない。そんな意味で人間としての逃げ場ということも石坂さんは言っています。

そして最後に四つ目。それは「自分の心の中の逃げ場」です。昔の子どもは今の子どもほど勉強に追い詰められてはいなかったと思います。全員が進学しなくてはいけない、という発想が今よりずっと希薄で、学校の勉強ができなくても何とかなんと大人も子どもも多くが思っていました。学校の勉強以外の様々な能力や知恵や魅力が人々には備わっていると、大人たちは今よりもずっとわかっていたと思います。でも今は学校という文化に馴染まなければまるで人生がないかのようなかなり狭い思いが大人にあります。その中で子どもたちは多くのストレスを抱えています。

自分の中で自分を受け入れる、最近では自己肯定感という言葉が非常に多く使われますけど、石坂

さんが自ら言っているように、「でも僕にはこれがあるよ。学校の勉強は苦手だけど、漫画を描くのは好きなんだ」とか、そういう子どもの自分の中の逃げ場、心の中の逃げ場、そんなものを子どもたちは失っているのではないかと思えます。こういう一冊の本ですけど、作家のみずみずしい感性で、いまの子どもと、学校社会のミスマッチを考えるとこんなことまで見えるのだな、ということが大変よくわかる本なので皆さんにご紹介したいと思って持ってきました。

学校と子どものミスマッチ・・・子どもの声から考える

では学校と子どもたちのミスマッチってどうなっているのだろうか。子どもの声を聴いてみたいと思います。最近いろんな新聞も子どもたちの声を聴く特集の欄などを結構作って我々に教えてくれます。これは去年の2月に朝日新聞の「声」欄に載った子どもの声です。

「今の教育は今の時代に合っていないのだろうか？ 私最近そう疑問に思う。」

定時に会社に行って決められた業務をこなす時代は終わり、現代は働き方も生き方も多様化している。定時に学校に行き、決められた時間割をこなす今の教育は、本当に必要なのだろうか？

(中略) 次回について

ついでに草の会の緊急のお知らせ、8月9月の定例会は会場の都合でひかりプラザがつかえなくなりました。7月は臨時の場所へ移動して行きます。8月9月は光公民館で行います。

国分寺市不登校を考える親の会(さくら草の会)

通信 245号 2025 7月26発行



次回の定例会は8月23日です。定例会は第四土曜日2時から4時。会場は光公民館中会議室です。地域を問わずどなたでもご参加ください。参加無料、予約も連絡も不要です。

カット (カヤツリグサ)

事務局 石井ひろ子 042-502-7558 (留守電にメッセージを入れてください。おrikaseshimasu。) さくら草の会のホームページもいらんくたせち。

<http://inomck.wixsite.com/sakurasounokai>